



学校だより 第 4 号

令和 5 年 7 月

上越市立城西中学校

啐（そつ）とは、鳥が卵からかえるとき、殻の中で雛が鳴くこと。啄（たく）とは、親鳥が外から殻をつつくこと。両者相呼応した、逃すべからざる好機をいう。当校では、啐啄の精神から大きな成果が生まれると考え、職員玄関に掲額している。

チャレンジ

校長 五十嵐 守男

「失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐ろ。あなたが失敗することは、あなたが何かを学んでいることを意味する。あなたが何もしないことは、何も学ばないことを意味する。」

-ポール・アレン(Paul Gardner Allen, 1953- 2018, マイクロソフト社創業者)-



2つの部活動に取り組む、というチャレンジ。

文化系の部と運動系の部を兼ねて活動している生徒がいます。「好きなことが両方できて嬉しい」とAさん。「でも、大会が近くなったりすると、いつ、どっちに行くかのバランスが難しいですね」とBさん。ご家族や、部の仲間たちのサポートがあってできることではありますが、そのチャレンジ精神に敬意をもちます。

2つの運動系の部を兼ねて頑張っている生徒もいます。小学校の時からやってきたスポーツと、中学校に入って「楽しそうだな」と感じたスポーツの両方の部に入った、ということです。

今までも、学校の部活動と、地域のスポーツ・文化活動を兼ねる生徒は多くいましたが、部活動は「1つに入り、それを貫く」ことが当たり前、とされてきました。しかしこの「常識」は国際社会から見ればむしろ「異例」です。多くの国では、小中学生段階では「興味をもった多様な活動に取り組むことが、心身の健やかな成長に役立つ」と推奨されています。部活動が「結果至上主義」「一途主義」「減点主義」などに陥りがちであると指摘されている中、価値あるチャレンジとして、応援していきたいと思えます。



仲間を懸命に応援する姿が素晴らしいと、他校の皆さんからも大絶賛をいただいた当校陸上部。陸上部員の中にも、地域で様々なスポーツに取り組んでいる生徒がいます。



「チャレンジテスト」を受ける、というチャレンジ。

今年度から、従来の定期テストを年2回に減らし、その代わりに、もう少し出題範囲を狭めた「積み重ねテスト」を年間4回行うことにしました。その「積み重ねテスト」で、納得できる結果や成果を得られなかった生徒は、その後しばらく経った日に、同じ出題範囲で行われるチャレンジテストに「チャレンジ」できる、というシステムです。先月行われた1回目のチャレンジテストで、最も受検率の高かったのは1年生の社会で 85%、次いで3年生の数学が 78%でした。2年生では、数学と社会の2教科が、72%と高い受検率になっています。多くの生徒が、いわゆる再テストに自分の意思でチャレンジしていること、自ら学びに向かっていることに価値を感じています。



— できないことをできるようにしよう、というチャレンジ。できることを毎日続けよう、というチャレンジ。自分でなく、誰かの幸せのための、チャレンジ。みんなのために楽しい行事を創ろうというチャレンジ。いろいろなことに挑戦する、というチャレンジ。一つのことを貫き通す、というチャレンジ。—

生徒の多様なチャレンジを、認めること。応援し続けること。チャレンジの「場」をつくってあげること。それが、今、教育に求められている大切なことの一つであると思っています。

上越地区各種大会、地域クラブの大会

6月末から7月上旬にかけて行われた各種地区大会では、どの部もリーダーを中心に、あきらめずにひたむきに頑張りました。また、地域のクラブでも活躍しました。活動を通して得た多くの学びと経験を、これからの生活にいかしてほしいと思います。

各部、クラブのコメントは、給食時の放送で代表者が全校生徒に発表した内容です。



【陸上部】 地区大会本番では、コロナもだいぶ落ち着き、声を出しての応援が可能となりました。どの中学校にも負けない応援をして、チームを盛り上げたことで一人一人が全力で競技に向き合い、全力を尽くすことができました。上の大会につながっている人は、その大会で良い成績が残せるように日々の練習をがんばりましょう。

【男子バスケットボール部】 地区大会に向けて、特にディフェンスとリバウンドを意識しながら練習に取り組んできました。大会中は最後まで、みんながあきらめずに戦い抜くことができました。1・2年生は今回の大会で見つけた課題を思い出しながら練習して、来年こそ良い結果になるようにがんばってほしいです。



【女子バスケットボール部】 地区大会に向けて圧倒的優勝を目標にして練習してきました。地区大会では、一人一人が声を出し、盛り上げ、チームみんなで優勝を勝ち取ることができました。県大会優勝に向けて、スタートラインに立つことができました。限られた時間の中で、また1から出直し、目標達成に向けて、全力、がむしゃら、一生懸命にがんばります。



【野球部】 この地区大会に向けて1勝でも多く勝つという気持ちで取り組んできました。相手の声に負けずに声を出したり、ワンプレーごとに声を掛け合ったりして頑張りました。今後も真剣に練習に取り組み、上位をねらえるチームにしていきたいです。



【バレーボール部】 地区大会に向けて、時間を大切に1つ1つの練習を真剣に取り組んできました。大会本番では、ギャラリー、ベンチの仲間を含め、全員バレーで最後までボールをつなぐことができ良かったです。私たち3年生は引退しますが、新チームでは持ち前の明るさを存分に生かしたバレーをしてくれることを期待しています。



【男子ソフトテニス部】 地区大会に向けて私たちは緊張感をもち、プレーをすることを大切にし、取り組んできました。大会中は、相手のことをよく観察し、弱点を見つけるということを意識し、がんばってきました。地区大会を終えて3年生は全員引退となりましたが、1・2年生には学年の壁をなくし、団結力のあるチームになってほしいです。



【女子ソフトテニス部】 地区大会に向けて1試合でも多く勝てるように、取り組んできました。大会では最後までボールを追うこと、ポイントの合間にペアとの声かけが多く、いいプレーができました。これからもチームの目標を全員で本気で目指し、日々のトレーニングからのレベルアップや部員同士のよい関係づくりをしたいと思います。



【男子卓球部】 団体戦ベスト16。個人戦はそれぞれがベストを尽くして戦ってきました。地区大会に向けて、一球一球を大切に取り組んできました。チームで良い雰囲気づくりができるように協力しました。1・2年生は今回の経験をいかしてがんばってください。





【女子卓球部】 地区大会に向けて、自信をもったプレーができるように練習してきました。大会では仲間と前向きな声をかけあうことができました。団体戦は3位入賞で残念ながら、今回は県大会につながらなかったのですが、1・2年生には今回の大会で感じたことを次の大会にいかしてほしいです。

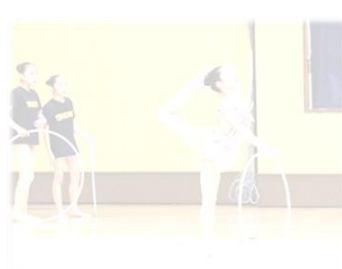
【サッカー部】 この地区大会は全員が悔いの残らないように全力で試合に臨みました。そのためどんな状況でも声を出し、気持ちの面で相手に負けないようにした結果、県大会まであと一步のところまでいくことができました。3年生は引退となりますが、することは変わりません。1、2年生にはサッカー部を最高のチームにしたいと思います。



【ソフトボール部】 この大会では学年関係なく一人一人が声を出し、明るい雰囲気でも戦い抜くこと、ソフトボールを楽しむことを目標にしてきました。当日は雰囲気が悪くなってしまったり、声が出せなくなってしまったりする場面がありましたが、良いプレーを全員がすることができました。県大会出場を決めることはできませんでしたが、ソフトボールを楽しむという目標を達成することができました。3年生は引退という形になりますが、1・2年生は来年の夏に向けて時間を大切に、一人一人がチームに良い影響を与える存在になれるようがんばってください。

【柔道部】 結果は、男女ともに団体戦優勝。個人戦では3年生は全員県大会出場を決めることができました。僕たちは地区大会に向けて決め切る、自分を信じる、ということ意識して頑張ってきました。大会中は身の回りの整頓をしっかりし、声出し応援ありだったので、みんなでたくさん応援しました。僕たちは地区大会を終えて、県大会を見据えて練習を始めています。県大会でも各自が良い結果を出せるように頑張ります。

【剣道部】 剣道部は6月23日、24日に開催された地区大会に出場してきました。結果は、女子団体が3位、個人戦では、1名が優勝し、県大会への出場権を得ました。県大会までの約2週間は、1人1人の思いや目標を共有し、チームとして一丸となつてがんばっていきたいです。



【特設 新体操部】 この大会では一つ一つの技の完成度を上げることを意識して練習してきました。その結果、県大会出場を決めることができました。落下が多くあったので、次に向けて改善できるようにしていきたいです。

【特設 水泳部】 地区大会に向けて全力で練習に取り組んできました。大会中がんばったことは応援です。みんなで仲間の応援ができました。地区大会を反省し、次の目標に全力で向かっていきます。

【つばさ JBC (バドミントン)】 結果は、ダブルスで2位でした。県大会に向けて、もっとミスをなくして県大会で勝てるように、がんばりたいです。

【上越ボーイズ (硬式野球)】 6月の大会で優勝し、関東大会に出場することになりました。また、東日本ブロック代表選手に選出され 8月に広島で行われる全国大会(鶴岡一人記念大会)に出場します。自分のベストプレーができるようがんばります。

【直心道場 (空手)】 女子個人形は2回戦敗退。個人組手は3回戦敗退。男子個人形は5位入賞。個人組手は5位入賞。全国大会には行けませんが、日本空手協会全国大会が8月にあります。入賞できるようにがんばります。

保護者・地域の皆様、ご声援ありがとうございました。

※中体連上越地区大会の結果については、別紙をご覧ください。なお、地域クラブの結果につきましては、情報をいただけたもののみ掲載しております。地域でのご活躍の情報がありましたら、ぜひお知らせください。

家庭と地域で、夏休み中の生徒の見守りをお願いします

まもなく1学期が終了し、7月28日(金)から8月27日(日)まで夏季休業となります。

長期休業前には、夏休みの過ごし方についての指導を行い、自らの命を自ら守るための行動について確認いたします。ご家庭や地域の皆さまからの生徒の見守りを、よろしくお願い申し上げます。

8月の行事



- 8月1日 北信越総合競技大会
(火)～ (石川県)～4日
- 6日(日) 県吹奏楽コンクール代表
選考会
- 17日(木) 全中総合体育大会
(四国)～25日
- 22日(火) 上進連テスト①
(3年)
- 23日(水) 上進連欠席者テスト
- 28日(月) 2学期始業式
- 29日(火) 生徒会専門委員会
- 30日(水) 合同新人水泳大会



9月の行事



- 9月1日 教育実習
(金) (1名～9/22)
- 4日(月) 前期定期テスト
部活動なし
- 5日(火) 前期定期テスト
- 6日(水) 欠席者テスト
- 7日(木) 欠席者テスト
- 8日(金) 合同新人陸上大会
- 15日(金) 体育祭候補日①
- 19日(火) 体育祭候補日②
- 20日(水) 専門委員会
- 21日(木) 合同駅伝大会
- 25日(月) 体育祭候補日③
- 26日(火) 科学研究発表会
- 28日(木) 新人各種大会



スクールカウンセラー 9月の来校日・・・7日(木) 22日(金) 29日(金) ※8月の来校日はありません

※8/9(木)～16日(水)は、閉庁日となります。

※「合同～大会」とは、上越地区の、上越市以外の生徒も参加して行われる大会のことです。